



豊里

心とカーフにして綱引き合う 6月26日

豊里町子ども会育成会連合会(遠藤たえ子会長)主催(豊里公民館共催)の第31回子ども綱引き大会は、豊里公民館大ホールで開催されました。14行政区から21チーム、総勢147人の児童が出場。心をついに力合わせて懸命に綱を引き合いました。予選リーグを勝ち抜いた上位5チームが決勝トーナメントに進み、激戦の末、新町つくし子ども会2班が優勝しました。

今も変わらない古里への思い 6月5日

第28回仙台米山会総会と懇親の集いは、仙台市の仙台ガーデンパレスで開催されました。今回は役員改選があり、林敏郎さん(江浪出身)から瀬戸憲吾さん(猪込出身)へ会長のバトンが渡されました。総会終了後は、金野信義米山総合支所長を講師に迎え「米山町の現状と課題」と題した講演がありました。参加者は、市町村合併から現在までのふるさとの移り変わりを、感慨深く聞いていました。



米山



迫

2年ぶりの開催に盛り上がる 6月25日

ふるさとスポーツ祭迫大会グラウンドゴルフの部は、梅ノ木グリーンパークで開催され、15チーム90人が参加しました。昨年は雨天中止となり、開催は2年ぶりとなったため、参加者の気合いは十分。各ホールで熱戦が繰り広げられました。当日はあいにくの曇り空でしたが、会場は大いに盛り上がり、笑顔でプレーを楽しんでいました。大会は、大網東チームの優勝で幕を閉じました。



石越

笑顔と歓喜あふれるふるスポ 6月19日

ふるさとスポーツ祭石越大会ニュースポーツの部は、石越総合運動公園、石越公民館を会場に開催され、ターゲットバードゴルフ、グラウンドゴルフ、ユニカールの3種目に約180人が参加しました。各種目とも、性別を問わず幅広い年代の選手が出場し、笑顔と歓喜、熱気があふれる大会となりました。結果はターゲットバードゴルフが遠沢区A、グラウンドゴルフが第7区、ユニカールは新道区Aが優勝しました。

歓声と笑顔集う児童館まつり 6月11日

子どもたちのふれあいや地域交流を目的とした児童館まつりは、登米児童館で開催され、児童館に登録している元気っこクラブ員や地域の子もたちが参加しました。ステージでは、プロのマジシャンによるマジックショーが催され、子どもたちはプロの鮮やかな技に歓声を上げていました。ジュニアリーダーとゲームや「びよんびよんかえる」を作ったり、水ヨーヨー釣りをしたりするなど、お祭りを大いに楽しみました。



登米

優雅に咲き誇るハナショウブ 6月12日

みなみかた花菖蒲の郷公園のハナショウブが、6月中旬から月末にかけて見頃を迎え、大勢の見物客でにぎわいました。6月12日には、みなみかた花菖蒲まつりを開催。当日は晴天に恵まれ、2千人余りの来場者が訪れました。大道芸人のマジックやピエロのバルーンアート、アイドルグループのショー、魚のつかみ取りなど子ども向けのイベントなどが催され、来場者は楽しい一日を過ごしました。



南方

東和 6月4日



ふるさと東和を思い語りあう 6月4日

東京東和会(源仁壽会長)総会は、東京都台東区の上野グリーンパークで開催され、会員56人と東和町出身の市議会議員や市職員ら8人が出席しました。総会終了後の懇親会では、ふるさとの思い出や近況などを語りあったり、カラオケで大いに盛り上がったり、参加者は楽しいひとときを過ごしました。多くの参加者たちは「来年またこの会に参加したい」と話していました。



津山

山林火災防止の願いを込めて 6月19日

市消防後援会津山支部(関野勝利支部長)では、野焼きやたき火、たばこのポイ捨てによる山火事防止を呼びかけるため、区内13カ所に立て看板を設置しました。看板は、山火事を出さない思いを込めて、支部会員の皆さんが手作りで準備されました。関野支部長は「今後とも、消防団や自主防災組織、婦人防火クラブなどの防災関係機関と手を取りあい、火災のないまちづくりに励みたい」と話していました。

交通死亡事故「ゼロ」を達成 6月21日

上沼コミュニティ運営協議会が交通死亡事故「ゼロ」4千日、石森コミュニティ運営協議会が千日を達成し、登米市役所中田庁舎で、市交通安全対策協議会長および佐沼警察署長から褒状が贈られました。褒状を受け取った上沼コミュニティ運営協議会の浅野盛志会長と石森コミュニティ運営協議会の渡邊義昭会長は「これからも地域ぐるみで取り組み、死亡事故ゼロを1日でも長く続けていきたい」と話していました。



中田